

2日目 分科会 8:45~10:30

分科会	内容	分担	所属	お名前（敬称略）
分科会1 自転車通行空間 ガイドライン	<p>自転車ネットワークの整備計画を策定したものの、その整備進捗が課題となっています。</p> <p>この分科会では、自転車専用通行帯の整備が比較的進んでいる東京と福岡、開催地の仙台から事例発表を受けて、車道上に自転車専用の通行空間を整備できた秘訣、今後、自転車専用の通行空間整備をさらに展開するに際しての課題、その課題を乗り越えていくアイデアについて会場参加者も交えて討議を行います。</p>	座長	中央復建コンサルタンツ株式会社 JCC全国委員会 幹事	小路 泰広
		発表者①	警視庁交通部交通規制課 係長	海老澤 綾一
		発表者②	福岡市道路下水道局管理部自転車課 課長	渡邊 淳之
		発表者③	仙台市自転車交通安全課	佐々木 朝一郎
		発表者④	大阪公立大学准教授 JCC 全国委員会幹事	吉田 長裕
		モニター	国土交通省道路局参事官（自転車活用推進）付 自転車活用推進官（自転車活用推進本部事務局）	種蔵 史典
分科会2 シェアサイクル	<p>自転車活用推進本部から、シェアサイクル事業の導入・運営のためのガイドラインが発出されるなど、すでに、数を増やす段階からシェアサイクルを持続可能な移動の装置とすることに主眼を置くステージに入ったと言えます。</p> <p>本分科会では、持続可能な移動の装置とするために、“適正な移動”を発現する事業構築のあり方と、そのベースとなるシェアサイクルの生み出す公共・公益との関係折合いのつけ方について議論をおこないます。</p>	座長	公益社団法人日本交通計画協会 交通計画研究所企画室長 JCC全国委員会 幹事	三浦 清洋
		発表者①	国土交通省道路局参事官（自転車活用推進）付 課長補佐（自転車活用推進本部事務局）	大内 健太
		発表者②	株式会社ドコモ・バイクシェア代表取締役社長	武岡 雅則
		発表者③	日本シェアサイクル協会総務部会長 中央復建コンサルタンツ株式会社 計画系部門 事業創生グループ統括リーダー 兼 事業運営部 部長	南部 浩之
		発表者④	さいたま市都市局都市計画部次長 JCC全国委員会 幹事	代田 智之
分科会3 サイクルトレイン サイクルバス	<p>近年サイクルツーリズムへの関心の高まりや、特に地方部での自転車利用促進の観点からサイクルトレイン・サイクルバスへの注目が高まっています。また、公共交通側では地域交通活性化策としてサイクルトレイン・サイクルバスが一つの施策として注目され始めています。</p> <p>この分科会では、我が国ではなかなか進まないサイクルトレイン・サイクルバスについて、課題や解決策、実施にあたり何をすることが効果的であるかについて、国内外の動向の報告とともに、実際に実施してきた事業者（えちごトキめき鉄道）をお招きし、自転車と公共交通施策双方の観点から議論を行います。</p>	座長	東海大学 准教授 JCC全国委員会 幹事	鈴木 美緒
		発表者①	内閣官房新しい資本主義実現本部事務局内閣参事官	金籠 史彦
		発表者②	えちごトキめき鉄道（株）代表取締役社長	鳥塚 亮
		モニター	国土交通省東北運輸局交通政策部長	鈴木 邦夫
分科会4 安全・教育	<p>この分科会では、通学路や生活道路の安全を確保し、いかにして歩行者や自転車の事故を減らすかに焦点を当てる。</p> <p>事例として、日本でのハード面での新しい取組みと効果について、次に西欧での最近の動向として「道路空間の再編」と「速度制限」、Car-freeの取組みを紹介する。</p> <p>金沢からは、大幅な自転車事故の削減がいかにして実現したか、そのための連携組織と自転車「事故対策研究会」の活動、幼児向け自転車教室についての報告の後、会場での議論につなげたい。</p>	座長	地球の友・金沢、北陸大学 名誉教授 JCC全国委員会 監事	三国 千秋
		発表者①	国土交通省飯田国道事務所長	大口 鉄雄
		発表者②	株式会社ドーコン	平出 涉
		発表者③	国土交通省金沢河川国道事務所計画課長	水野 力斗
		モニター	日本自転車文化研究会 JCC全国委員会 幹事	御子柴 慶治
分科会5 サイクルツーリズム	<p>ー3つのウェアへ、官民の取り組みー</p> <p>オルグウェア、ソフトウェア、ハードウェア、行政・民間の連携、ナショナルサイクルルート、ツーリズムの目指す姿は？</p> <p>道路、自転車提供、観光業、スポーツ進行、多様なステークホルダーの共創が要となるサイクルツーリズム振興のとりくみについて、ナショナルサイクルルートを目指す2つの県の事例、全国・世界のサイクルツーリズムの方向を共有し、目指す姿を探ります。</p>	座長	徳島大学大学院 教授 JCC全国委員会 副会長	山中 英生
		発表者①	福井県観光誘客課 若狭湾サイクリングルート推進室長	桑原 景子
		発表者②	鳥取県商工会連合会 西部商工会産業支援センター所長	澤田 裕一
		発表者③	株式会社北海道アーチヒーロー	高橋 幸博
		モニター	徳島大学 教授	矢部 拓也
分科会6 世界の自転車政策 トリビア	<p>世界の自転車政策、自転車の使われ方はCOVID19を経て大きく変化してきました。一方でわが国でもその変化が見られつつあります。</p> <p>この分科会では5月にドイツで行われた自転車の国際会議「Velocity2023」からみえた各国の政策変化や自転車の使われ方の変化をわが国の自転車関連メディアでは報道されない切り口から報告するとともに、世界中で様々に取り組みされているルールの徹底の状況、さらにわが国での取り締まり対策やルール徹底の今後の動向などをディスカッションします。</p>	座長	株式会社ドーコン JCC全国委員会 幹事	小美野 智紀
		発表者①	宇都宮共和国 特任教授 JCC全国委員会 顧問	古池 弘隆
		発表者②	警察庁交通局交通企画課課長補佐	尾花 優一
		発表者③	(株)藤田住環境計画 自転車計画研究所取締役計画室長	藤田 侑佑
		発表者④	ドイツ ハンブルク市交通政策担当	エルファディング ・ズザンネ
		発表者⑤	NPO法人自転車活用推進研究会 理事長 JCC全国委員会 副会長	小林 成基
分科会7 多様な自転車利用	<p>ツーリズムや交通安全など、従来から語られ、施策が練られてきた内容に加えて、自転車の新たな魅力について理解してもらいます。</p> <p>防災や運搬、高齢者の移動手段確保まで自転車の持つポテンシャルに気付いていない方も多いため、事例発表を通して活用推進計画に盛り込んだり、今後できることを検討したりしてもらおう分科会を目指します。</p> <p>さらに、会場の参加者との意見交換を通して更なる可能性を発見できれば、登壇者も含め気付きが得られるはず。多くの方のご参加をお待ちしております。</p>	座長	NPO法人自転車活用推進研究会 事務局長 JCC全国委員会 幹事	内海 潤
		発表者①	茨城県神栖市 政策企画課長	青木 祐人
		発表者②	堺市 自転車タクシー チクロヴォーチェ代表	中上 愛
		発表者③	東京都市大学講師	疋田 智
		発表者④	堺市建設局サイクルシティ推進部 参事役 JCC全国委員会 幹事	貝塚 耕一
		モニター	モビリティ・ジャーナリスト	楠田 悦子